

## 令和 6 年度の事業報告書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 和の学校

## 1 事業の成果

第 22 期はN P O 法人和の学校が設立 20 周年を迎えた。12 月初旬「京都伝統産業ミュージアム」(みやこめっせ内)を会場に「和の学校文化祭」を企画し、各事業を連動させる内容を取り組んだ。3 日間の開催で約 3,300 名の乳幼児親子中心とする来場者があり、日本伝統の文化と産業をあそびや体験を通して未来へつなげる機会となった。また、今回の行事のために初めての試みとして挑戦したクラウドファンディングにも多くの支援をいただき目標を達成することができた。情報発信収集事業では昨年度よりホームページのリニューアルを進めてきたが、今年度はさらにインスタグラムでの情報発信など、次世代にアプローチしやすいメディア戦略に取り組み始めた。あそび塾では、従来の活動に加えて「やせのそとあそび」など他団体の活動にも参加した。コンサルティング事業では、味の手帖の紙面協力最終年度となったため、あそび塾で培った「田んぼの歳時記」を12 回の連載にて紙面に掲載した。桂坂野鳥遊園の体験講座では地元ボランティアに講師をしていただくメニューを増やすなどし、ボランティアによる活動を増やした。晩秋に恒例となったもみじ祭りにて、ボランティアの方の作品展示を行い、来園者にプレゼントするなどし、賑わいづくりに貢献した。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の 金額 (単位： 千円)
①情報収集 発信事業	和の学校活動の情報を発信するサ イトの運営 また、インスタグラ ムでの情報発信	(A)通年 (B)事務所 (C)5 名	(D)不特定多数 (E)約 1 万 2000 人 (月 間訪問者約 1000 人 × 12 ヶ月)	123
	会報誌「和の学校 学校通信」の発 行	(A)会報誌は年 1 回 (B)事務所 (C)5 名	(D)不特定多数 (E)会報誌は会員と関 係者に向けて 210 通発 行	212

②教育・研修・体験・講座事業	あそび塾「山であそぼ」子どもたちやその親たちに、山あそびや川あそび、農業文化体験、手づくりあそび体験などを通じて日本の文化や心を伝える塾の運営			
	比叡山の麓・八瀬を会場とした、自然の中での食や遊びの体験イベント「やせのそとあそび」に初めて参加。10種類以上の竹の花入れに季節の花を生けこむ体験や、竹の水鉄砲での川遊びを提供した。	(A)令和6年5月25日、5月26日 (B)京都市左京区八瀬一帯 (C)4名	(D)子育て世代の親子中心の一般対象。 (E)約1,000名	159
	「山であそぼ」の体験講座として川遊びを実施	(A)令和6年8月4日 (B)京都市京北上黒田吉野山自然観察の森 (C)6名	(D)関西を中心とした親子 (E)3家族12名	
	抹茶茶碗を作ろう 陶芸教室の開催及び文化祭で自作の茶碗を使った茶の湯体験の実施	(A)令和6年10月8日、11月12日、12月8日 (B)京都市西京区桂坂野鳥遊園ものづくり体験館、みやこめっせ (C)8名	(D)関西の親子 (E)大人14名、小中学生16名（延べ90名）	
	注連飾り作り 桂坂自治連合会、京都市社会福祉協議会との共催にて実施	(A)令和6年12月21日 (B)京都市西京区桂坂野鳥遊園ものづくり体験館 (C)4名	(D)京都市桂坂自治連合会地区住民 (E)41名（午前午後の2回実施）	
	つくものらぼ：伝統産業など製品製造で発生する端材や余材などを利用して、次代を担う子どもたちの創造的視野を育む活動「つくものらぼ」の事業準備、立上げ 実施せず			0

	講師派遣：各地の小・中・高等学校や団体などに、日本の文化や伝統に携わる人を講師として派遣			
	川西けやき坂文化祭参加。子ども縁日コーナーにて手づくりあそび指導	(A) 令和6年11月2日 (B) 兵庫県川西市けやき坂公民館 (C) 3名	不特定多数	25
	イベント補助：会員などが主体的に各地で和の学校活動を広げるための活動補助事業			
	実施せず			0
	カレンダー販売 曆にちなんだ「歳時記カレンダー」、「旧暦カレンダー」、「和食の暦」、「ルナカレンダーmini」、「月の満ちかけ絵本」をホームページ上等で紹介して販売、また京都市を中心に販売代理店としての位置づけで委託販売	(A) 通年 (B) 事務所、委託先 13名 (C) 3名	(D) 不特定多数 カレンダー184冊販売	299
	NPO 設立 20 周年記念事業として「和の学校文化祭」を実施。乳幼児と親世代を対象に、伝統文化と伝統産業を“あそびと探究”を通して親しむ機会を創出。行政、教育、企業など、様々な領域から協力を得ることができた。また、初めての試みとしてクラウドファンディングにも挑戦。多くの方々からの賛同で目標額を達成。	(A) 令和6年12月6日～8日 (B) 京都伝統産業ミュージアム みやこめっせ地下 (C) 30名	(D) 不特定多数 (E) 約3,300名(3日間の来場者数)	7,318

③コンサルティング事業	『味の手帖』「田んぼの歳時記」ページの執筆 4月～翌年3月の12回連載：山下修 4月田んぼの準備、5月水入れ代掻き、6月田植え、7月草取り虫追い、8月水入れ水抜き、9月稻刈り、10月乾燥脱穀、11月新米、12月注連縄と餅つき、1月お正月と旧暦、2月米糀と味噌仕込み、3月荒起こしと里山の仕事	(A)令和6年4月～令和7年3月の毎月 (B)事務所 (C)4名	(D)不特定多数	165
	桂坂野鳥遊園の管理運営業務、通年の体験指導並びに特別体験講座12回 4/14 竹の子掘り、5/6 木工・木端細工、6/16 石窯でピザを焼こう！、7/21 竹の食器、8/11 ソーラーメロディハウス、9/8 水鉄砲、10/27 トトロの森を作ろう、11/24 薪割り薪ストーブ体験、12/15 注連縄飾り作り、1/26 味噌作り、2/23 しいたけ栽培、3/2 ひな団子	(A)令和6年4月～令和7年3月 特別体験講座12回実施 (B)京都市西京区桂坂野鳥遊園 (C)延べ158名	(D)不特定多数 (E)特別体験講座参加者343名(体験者は184名)	4,616

(2) その他の事業

事業名	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
物品販売事業	北山杉の間伐材を利用したペレットの販売	(A)通年 (B)京都市西京区桂坂野鳥遊園 (C)1名	(D)不特定多数 11袋販売	6